いちのみやの

社会福祉

No.51
2022
2月号
福祉のまちづくり
（6月・10月・2月発行）

一宮市社会福祉協議会

ボランティア養成講座を開催します(詳しくは6ページ)

視覚障害者ガイドヘルプ講習会

傾聴ボランティア養成講座

高齢者疑似体験インストラクター養成講座

Topics（トピックス）

- 社会福祉大会の表彰（全国・愛知県）
- 赤い羽根作品コンクール
- 赤い羽根共同募金のつかいみち
- 講座・イベント参加者募集
- ボランティア紹介リレー
- 支えあい通信

ボランティア活動を始めませんか?

本会では、ボランティア活動を始めるきっかけや「ふくし」に関心を持っていただくために、様々なボランティア養成講座を開催しております。「ボランティアに興味があるけれど何から始めていいかわからない」、「すき間時間で何かやってみたい」と思っている方は、ぜひお気軽にご参加ください。詳しくは、6 ページをご覧ください。

おめでとうございます

～日ごろの活動に対し、全国及び愛知県の社会福祉大会で表彰された方々です～

令和３年度全国社会福祉大会

◇新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から令和３年度全国社会福祉大会は中止となりましたが、一宮市からは次の方々が表彰されました。

◎全国社会福祉協議会会長表彰

・社会福祉法人・福祉施設功労者

柴垣　美幸 / 竹田　薫 / 岩田　保
小木曽　晃久 / 田中　慎治 / 田中　保成
三輪　卓也 / 島田　真由美 / 佐々木　貴美子

◎中央共同募金会会長表彰

・奉仕功労者

渡辺　一美 / 河村　保久 / 前田　旬子

第69回愛知県社会福祉大会

◇1 月 20 日(木)、ドルフィンズアリーナ(愛知県体育館)にて第 69 回愛知県社会福祉大会が行われ、一宮市からは次の方々が表彰されました。

◎愛知県社会福祉協議会会長表彰

・民生委員・児童委員

梅村　ひろ江 / 近藤　太康
前田　旬子

・社会福祉施設・団体役職員

山田　祥男

・里親

石田　久恵

・その他、社会福祉事業の進展に寄与した者

一宮市点訳サークル「ききょう」

◎愛知県共同募金会会長表彰

・奉仕功労者・団体

平山　富朗 / 近藤　豊 / 白木　圭子
佐波　由美子 / 近藤　洋子 / 中島　初美
筧　賢吾 / 白木　幸次郎 / 田中　淳五
鈴木　茂

・従事功労者

中村　英樹

・篤志寄付者・団体

林　光男 / 株式会社マサノ

(敬称略・順不同)

ボランティア活動をされている団体・個人が受賞されました

愛知県社会福祉協議会会長表彰

一宮市点訳サークル「ききょう」

第 69 回愛知県社会福祉大会で愛知県社会福祉協議会会長表彰を受賞されました。一宮市点訳サークル「ききょう」さんは、視覚障害者の方への文書を点訳していただいたり、市内の小中学校で点字の読み書きを教えていただいています。

朗読録音奉仕奨励賞

一宮市朗読グループききょう　市田摂子さん

第 51 回朗読録音奉仕者感謝行事で公益財団法人鉄道弘済会・社会福祉法人日本盲人福祉委員会から奨励賞の贈呈を受けました。市田さんは、市の広報紙や中日新聞の「くらしの作文」を音声化し、CD やテープを視覚障害のある方々にお届けする活動をしています。

長年のご尽力に感謝を申し上げるとともに今後の更なるご活躍を期待いたします。

おめでとうございました。

第65回福祉善行児童・生徒表彰

1月31日(月)に、第65回福祉善行児童・生徒表彰を行いました。
地域の福祉活動やボランティア活動に積極的に参加し、明るい幸せな地域社会づくりに寄与した児童・生徒62名を表彰しました。
表彰を受けられたみなさん、おめでとうございます。
なお、表彰された児童・生徒のお名前は、本会ウェブサイトをご覧ください。

138sk 検索

一宮市の福祉を支える社協会員に

社会福祉協議会会員募集のお願い

社協の活動財源は、市からの補助金・受託金のほか、社協会費や赤い羽根共同募金、善意のご寄付など、みなさまからのご支援・ご協力に支えられています。

いただいた会費は、各連区に設置している地区社会福祉協議会(支会)に還元され、各連区の実情に合わせた地域福祉推進のために活用されます。

「誰もが安心して暮らせる、人にやさしい福祉のまちづくり」を目指して、今後もさまざまな事業に取り組み、みなさまとともに一宮市の地域福祉を推進してまいりますので、温かいご協力をお願いいたします。

会員の種類と年会費

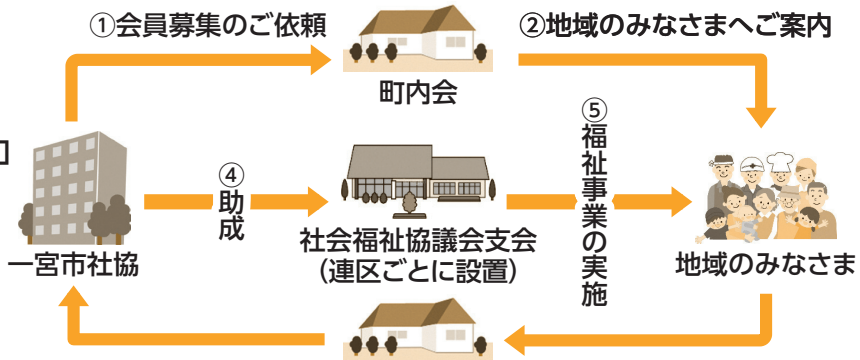
一般会員　500円
(個人又は世帯)

法人会員　1,000円

団体会員　500円×世帯数口
(町内会・自治会等)

地元の町会長さん、役員さんが訪問されましたら、ご協力いただきますよう、よろしくお願いします。

会員募集の流れ



善意のご寄付ありがとうございました

令和3年8月1日～令和3年11月30日現在　**合計 177,769円**

エス・ビー建材(株)　/　一宮市女性グループ連絡会　/　西成21会　/　(株) Veracity　/　のんきやお客一同　/　木曽川町資源を守る会　/　他匿名3件　(敬称略・順不同)

一宮市
共同募金委員会

第73回赤い羽根協賛
児童生徒作品コンクール

入賞者紹介

「国民たすけあい共同募金運動」の健全な推進を図るため、市内の小・中学校に在学する児童・生徒を対象にポスター・書道の作品を募集しました。集まった作品は名古屋芸術大学にて審査していただき、下記のとおり入賞者を選出しました。

（敬称略・順不同）

ポスターの部

応募266点

特賞

西成東小　5年
福山　愛莉

今伊勢中　2年
柳田　莉奈

大成中　2年
吉永　隼

金賞

萩原小	1年	立石　芽生
西成東小	3年	福山　愛菜
浅井南小	4年	宮田　真帆
浅野小	6年	宮原　由安
中部中	1年	石原　虹呼
大和中	1年	川上　桃加
大和中	1年	水野　灯

・・・愛知県共同募金会金賞
・・・愛知県共同募金会銀賞

銀賞

末広小3年 近藤 琉莉/大和南小4年 水谷 希羽/木曽川東小4年 名和 蒼真/向山小 5年 松原 朱音/小信中島小6年 宇佐見 紗奈/木曽川東小6年 児野 稜太/今伊勢中2年 野田 琴葉/西成東部中2年 伊藤 優花/大和中3年 斉藤 来桜/今伊勢中3年 三好 真緒

銅賞

浅野小1年 伊藤 七海/浅井北小1年 安村 苺華/萩原小1年 酒井 碧斗/朝日東小1年 則竹 奏和/大志小2年 山内 梨衣奈/大和東小2年 富村 芽依/千秋南小2年 平子 瑠彩/黒田小2年 大橋 真那斗/木曽川東小2年 新美 月愛/浅井南小3年 吉田 結音/木曽川西小3年 青山 由侑/木曽川西小3年 髙橋 杏実/浅井南小4年 内田 平/大和南小5年 髙木 祐里/黒田小5年 広瀬 綾音/浅井南小6年 野田 ゆいり/木曽川東小6年 成本 なつみ/浅井中1年 中丸 埜亜/西成東部中2年 稲川 聖来/木曽川中3年 三宅 巧真

書道の部

応募1,613点

特賞

奥小　5年
片岡　瑠来
愛知県共同募金会金賞

開明小　6年
今村　希美

北部中　3年
森　葵彩

金賞

瀬部小	3年	木野　心結
今伊勢小	4年	大城　結菜
千秋南小	6年	岸　心晴
西成中	2年	石原　佳歩
浅井中	2年	宮崎　名彩
南部中	3年	木下　紗希
葉栗中	3年	小島　沙弥音

・・・愛知県知事賞

銀賞

浅野小3年 林 華怜/千秋南小4年 岸 優花/奥小5年 横山 眞子/奥小5年 中村 紗子/葉栗小6年 石渡 姫沙/北部中1年 森 史織/丹陽中1年 秋田 佳子/葉栗中2年 戸松 徹平/浅井中2年 伊藤 萌優/尾西第三中3年 岩田 達幸

銅賞

神山小3年 真野 侑奈/葉栗小3年 戸松 花梨/浅野小3年 岡庭 友梨/貴船小4年 松原 弘将/葉栗小4年 河西 陸杜/奥小4年 上村 友菜/奥小4年 新谷 瑠基/大徳小4年 藤本 彩綾/瀬部小5年 岩田 連虎/起小5年 石垣 青海/浅井南小6年 野垣 結子/今伊勢小6年 野村 小春/今伊勢小6年 柳田 隼弥/葉栗北小6年 森 彩乃/小信中島小6年 大橋 歩華/北部中2年 大澤 莉紗子/葉栗中2年 戸松 裕太/浅井中2年 森 春稀/奥中3年 福田 みゆ/尾西第三中3年 小関 芽生

令和3年度　赤い羽根共同募金　中間報告

一宮市共同募金委員会

募金総額38,024,018円

（令和3年12月末現在）

ほんの小さな
やさしさで広がる
大きな支援の輪
AKAIHANE KYODO BOKIN

「自分のまちを良くするしくみ」をスローガンに、令和３年度の『赤い羽根共同募金運動』を実施しています。子どもからお年寄りまで、市民一人ひとりの温かい真心や市内事業所のご協力により、令和３年12月末現在で目標額43,000,000円の88.4%まで達成することができました。

募金運動に際しまして、奉仕員として協力していただいた町会長、民生児童委員、事業所、児童・生徒会の皆様をはじめ、快く募金をしていただきました多くの市民の皆様や関係各位に対し、心より感謝申し上げます。

今年度の募金期間は３月31日(木)までとなっています。引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

赤い羽根協力店『協力店舗』拡大中!

赤い羽根共同募金では、毎年、お店のレジ近くや受付窓口に募金箱を設置していただく企業や店舗、通称『協力店』を募集しています。

今年度は、新たに「愛知県美容業生活衛生同業組合一宮支部」に加盟している市内172店舗の皆さんに募金箱を設置していただけることになりました。

お店を利用し、お会計を済ませる際に、ほんの少しのお気持ちで構いませんので、募金していただけると幸いです。ご協力をよろしくお願いいたします！

美容あいち
愛知県美容業生活衛生同業組合

あなたの町の赤い羽根協力店

【今年度の協力店】(敬称略・順不同)

- ◇おうぎ歯科（木曽川町連区）
- ◇くずや歯科（木曽川町連区）
- ◇とみだ薬局（大徳連区）
- ◇真野紙文具店（貴船連区）
- ◇キッチンスパイス（開明連区）
- ◇丹菊接骨院（木曽川町連区）
- ◇はなみずき歯科（丹陽町連区）
- ◇虫鹿歯科医院（葉栗連区）
- ◇ローソン一宮小信中島南店ほかオーナー経営店２店舗（小信中島連区ほか）
- ◇愛知県美容業生活衛生同業組合一宮支部

Close up! 赤い羽根共同募金のつかいみち

みなさまからお寄せいただいた募金は、本会の事業に活用させていただくほか、市内の福祉団体の運営や事業に役立てられています。

昨年度の様子

はねっと　検索

児童育成連絡協議会

毎年、各連区にて子ども会スポーツ大会を実施しています。

子どもたち、役員、協力員がそれぞれの場面で自らの力を発揮し楽しくスポーツを行い、充実した時間を過ごすことができます。また、仲間との活動や関わり合いによる成長、社会の一員として必要な知識、技能、態度を学ぶよい機会になっています。

赤い羽根共同募金のおかげで、このような機会をいただき、大変うれしく思います。ありがとうございました。

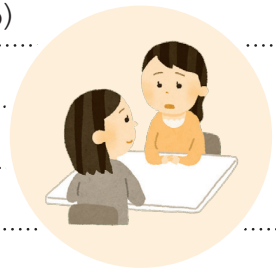
※その他のつかいみちについては、赤い羽根データベース「はねっと」をご覧ください！

講座受講者募集!

傾聴ボランティア養成講座(全3回)

傾聴の技術について学び、施設や個人宅での傾聴ボランティア活動に参加してみませんか。

日　時	2月17日～3月3日　毎週木曜日　午後1時～4時
会　場	社会福祉協議会　大和事務所　会議室(大和町宮地花池字中道9-16)
対　象	市内在住、在勤で傾聴ボランティアに関心のある方
定　員	20名(先着順)
受講料	無料
申込み	2月4日(金)～14日(月)午前9時から午後5時に本部へ(TEL:85-7024)



高齢者疑似体験インストラクター養成講座

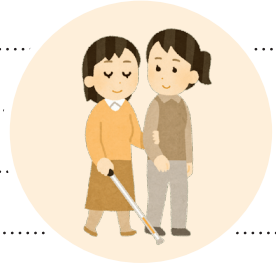
市内の小・中学校等で福祉教育を支援するボランティアを養成します！

日　時	2月25日(金)　午後1時30分～4時
会　場	社会福祉協議会　大和事務所　会議室(大和町宮地花池字中道9-16)
対　象	市内在住、在勤で福祉教育に興味があり、受講後は高齢者疑似体験インストラクターとして活動できる方
定　員	15名(先着順)
受講料	無料
申込み	2月2日(水)～16日(水)午前9時から午後5時に尾西支部へ(TEL:63-4800)

視覚障害者ガイドヘルプ講習会

視覚障害者の日常生活支援の一つ、ガイドヘルプについて学んでみませんか？

日　時	3月4日(金)　午前10時～午後3時
会　場	社会福祉協議会　本部(栄3丁目1番2号 尾張一宮駅前ビル4階)
対　象	市内在住、在勤で視覚障害者の支援に関心がありボランティア活動を希望する方
定　員	10名(先着順)
受講料	無料(昼食は各自持参)
申込み	2月7日(月)～25日(金)午前9時から午後5時に本部へ(TEL:85-7024)



各講座に関する注意事項

新型コロナウイルスの感染拡大状況により、開催中止または、内容を変更する場合がございます。
その際は、ウェブサイトなどでご案内させていただきます。
また、実施する場合は、会場の換気などに配慮いたします。

いちのみや福祉ジョブフェスタ 2022
～みらいに 逢 を～

コロナ禍でなかなか開催ができませんでしたが、1年8ヶ月ぶりに開催します！市内の障害福祉事業所がブースを出展し、仕事の紹介、相談を行います。資格や経験が無くても大丈夫。福祉の仕事に興味のある学生さん、子育てが一段落したお母さんなど、どなたでも大歓迎です！

日　　時　3月6日（日）　午前10時～午後3時
会　　場　尾張一宮駅前ビル（ｉ-ビル）3階　シビックテラス
主　　催　一宮市障害者自立支援協議会　生活支援部会
参 加 費　無料
問 合 せ　一宮市障害者自立支援協議会　生活支援部会
（一宮市福祉部福祉総務課福祉総合相談室内
担当：鈴木）
℡28-9145

今回は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年実施しているステージコーナー及びスタンプラリー等の開催は見合わせます。その分、対面でしっかりと障害福祉事業所の魅力をお伝えできるジョブフェスタとして開催しますので、ぜひご参加ください。

ジョブフェスタ マスコットキャラクター

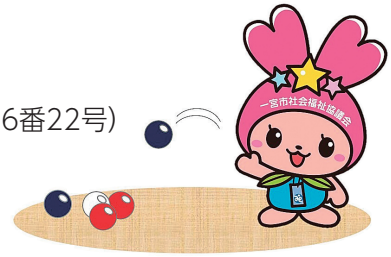
FMいちのみや出演者大募集!

ＦＭいちのみやの15分番組「いちのみやの輪」で、ボランティア活動についてお話しいただける方（団体）を募集しています！「いちのみやの輪」は毎週金曜日午前8時30分から8時45分までの15分間放送されています。

日頃の活動紹介やイベントのご案内、新規会員の募集などボランティアに関することならなんでも大歓迎です。事前収録も可能ですので、初めての方もぜひお気軽にご連絡ください。

問合せ　本部　℡ 85-7024

障害者スポーツ体験交流会



日　　時　3月13日（日）午前10時～正午【受付 午前9時30分～】
会　　場　いちのみや中央プラザ体育館　尾西信金アリーナ（野口1丁目6番22号）
定　　員　60名（申込多数の場合、抽選）
対　　象　市内在住・在勤・在学の方
内　　容　ボッチャ体験を通じて交流
　　（他にカローリング、フライングディスク、シッティングバレーボール体験）
参 加 費　無料
申 込 み　2月25日（金）午後5時までに本部へ申込書を提出
　　または電話（℡:85-7024）
　　※申込書は本会ウェブサイトからダウンロードできます。
そ の 他　・感染防止策として、マスクの着用・手指消毒にご協力をお願いいたします。
　　・動きやすく、汚れても良い服装でお越しください。
　　・この事業は、赤い羽根共同募金の配分金を使用しています。
後　　援　愛知県社会福祉協議会、株式会社アイ・シー・シー、一宮市、一宮市教育委員会、一宮市スポーツ協会

令和２年度ボッチャ甲子園優勝チーム「サザンクロス」のみなさん。令和３年度も決勝大会進出が決まっています！みんなで応援しましょう！
当日は、会場で一緒にボッチャができます。

令和２年度に開催した「障害者スポーツ体験交流会」がパワーアップ！パラスポーツ以外にも、カローリングやフライングディスクといった、ニュースポーツも体験できるようになりました。
東京パラリンピックで日本代表が活躍した競技を一緒に体験してみませんか。

本会では、道具の貸し出しを行っています。詳しくは裏表紙をご覧ください。

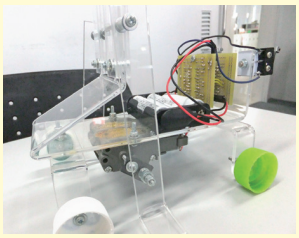
ボランティア紹介リレー

第25回

今回は、『音の輪会』からの紹介で、『市民活動団体Prop』をご紹介します。

主な活動や目的は？

大人と子ども（小・中学生）を対象にした講座があり、大人向けはパソコンを楽しむ会、子ども向けには工作教室を開催しています。工作教室は参加する子のやりたいことを見つけ出し、一緒に目標を設定する。それ以降は自分なりに考えて、作ってみる主体性を育むことを大切にしています。教室をきっかけにモノづくりをしながら、創る楽しさを実感できるよう活動しています。



団体名の由来は？

団体を創立したのは2015年3月。この年はラグビーワールドカップで日本代表が南アフリカ代表を破り日本中が歓喜の渦に包まれましたよね。スクラムを組む際、最前線でぶつかる選手を支えるポジションがprop（プロップ）といいますが、まさに自分達の活動の原動力である、一緒に楽しみながら教室に参加される方で困っていることをお助けします！お手伝いします！という思いから名付けました。

活動のやりがいは？

親が子どもを見る感覚で、楽しんでいる様子を見ることができ、とても嬉しいです。出来上がったモノを見せたときの表情や、困ったときには子ども同士が方法や考え方を教え合い、一回り成長した姿が見られてやりがいを感じています。

市民の皆様へひとこと

モノづくりやプログラミングに興味があるお子さんはぜひ参加してください。お友達や兄弟と一緒の参加は大歓迎です。その他に田舎暮らしを推進する活動もしています。活動予定は団体のウェブサイト（http://daily.ehoh.net/prop/）に随時掲載しています。詳しいことは代表の林（y4o.138@gmail.com）までご連絡ください。

取材を終えて

今回は、参加者のリクエストを聞いて受け答えする形式で行われている「パソコンを楽しむ会」にお邪魔させていただきました。パソコンの処分の方法、ウェブサイトや年賀状作成のお手伝いなど幅広く活動をされていました。参加費は無料だとかえって相談しづらいという意見もあり、募金箱を置いて1回500円程度を入れてもらうシステムをとられています。興味のある方は、Propさんの活動に足を運んでみてはいかがでしょうか。

おすすめ福祉の本

あいちゃんのひみつ

ダウン症をもつあいちゃんの、ママからのおてがみ

竹山　美奈子/取材・文　えがしら　みちこ/絵　玉井　邦夫/監修　岩崎書店

図書館で借りることができます。

主人公はダウン症があるあいちゃん。小学3年生までは特別支援学校に通っていましたが、ゆっくりながらもいろんなことができるようになってきたので、小学4年生から地元の小学校に転校することになりました。

「どうしてそんなに目がつっているの?」「ダウン症ってなあに?」あいちゃんと一緒に学校生活を送る中で子どもたちは純粋に疑問に思います。ダウン症の特徴やその原因、接し方をわかりやすく教えてくれる作品です。

祝！長寿 いつまでもお元気で

本会では、毎年数え100歳となる方に長寿祝金をお贈りしています。
今年度は、大正11年生まれの方が**100名**いらっしゃいました！
その中の一人で一宮市栄に在住の小島操さんにお話を伺いました。

長寿の秘訣
「無心になれる趣味」と「なんでも食べること」

操さんは、6歳から市内で育ち、現在は長男夫婦と3人暮らし。子ども3人、孫5人、ひ孫5人に恵まれました。ご主人を早くに亡くし、様々な苦労もあったそうですが、現在は温かいご家族に見守られ、とてもお元気なご様子でした。

普段の生活では、頭と手先の運動のために90歳から始めた習字を毎日2～3時間、「百人一首」を題材に書いているそうです。書いている時間は「無心」になり、心を穏やかに、落ち着いて取り組めるから、習字が好きとおっしゃっていました。その出来栄えは、数え100歳の方の字にはとても見えないほどしっかりしています。

また、「好き嫌いせず、なんでも食べること」が長寿の秘訣とお話ししてくださいました。魚よりも肉が好きで、よく召し上がるそうです。昼食はご自分で用意することもあり、卵を焼いたり、お雑煮を作ったりしているとのこと。

そして、取材中の操さんとご家族の姿を拝見して、笑顔が絶えないご家族とのふれあいも元気の源なんだなと感じました。

新たな楽しみを求めて…

老人クラブ入会のご案内

老人クラブでは様々な活動を行っています。

友愛活動 奉仕活動　**健康づくり 活動**　**仲間づくり 活動**

募集対象　おおむね60歳以上の方なら、どなたでも入会できます。

問合せ先　一宮市老人クラブ連合会 事務局(社会福祉協議会尾西支部内)
TEL: 63-4800

生活福祉資金貸付制度のご案内

支援を受けることにより自立した生活ができると認められる低所得世帯、障害者、高齢者の属する世帯を対象に、資金貸付の相談を行っています。本貸付制度は資金種類ごとに要件・条件があります。詳細については、本部(TEL：85-7024)へお問い合わせください。

また、現在、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、休業や失業等により生活資金でお悩みの世帯に向けた、緊急小口資金等の特例貸付を実施しております。特例貸付の詳細は、本会ウェブサイトに掲載していますので、そちらをご覧ください。

※貸付には審査があります。希望するすべての方にお貸しできるものではありません。

138sk 検索

車いす使用の職員発信

車いすといっしょに

第15回「体験を通して感じる、介助者の配慮」

緊急事態宣言の解除以降、感染対策をし、福祉実践教室で市内の小中学校を訪問する機会が戻りつつあります。福祉実践教室は、障害当事者への思いやりに気付く機会であるとともに、介助者がどのように当事者と接するかを知る機会でもあります。車いす体験では体育マットを段差に、三角コーンを人に見立てて、車いすの乗り心地や介助の基本動作を体験してもらいます。マットから前輪が落ちたときは、車いすをあまり大きく動かさずに、落ちた前輪だけをやさしく戻します。段差を乗り降りする前には声をかけ、車いすを押すときはゆっくりと進む。大切なのは、こうした小さな心配りです。実生活では、道路の凹凸による振動や周りの人との距離など配慮する点も多く、また「ゆっくり」や「やさしく」といった感覚に個人差はありますが、日ごろ私がお世話になっている方にどれほど気を配っていただいているかを、福祉実践教室を通じてあらためて感じます。(小鹿)

障害者スポーツの紹介 「ブラインドサッカー」

(こどもボランティアスクールで体験した様子)

ブラインドサッカーは、ゴールキーパー以外の選手がアイマスクをつけてプレーするのが大きな特徴です。以前紹介した卓球(サウンドテーブルテニス)と同様、音の鳴る玉が入ったボールを使用します。ボールが外に出ないようピッチの左右にフェンスが設けられるほか、選手はヘッドギアをつける決まりになっています。選手同士の連携を支えるのが「コーラー」です。コーラーには、選手とボールの位置関係やシュートのタイミングなどを、声で伝える大切な役割があります。また、ボールを持っている選手に近づくときもかけ声を発するのがルールで、これを怠ると反則を取られます。選手が入り乱れるからこそ、さまざまな点で安全に配慮されている競技です。

支えあい通信

新型コロナウイルスの感染拡大により、ボランティア活動やサロン活動にも大きな影響がありました。一方で、コロナ禍だからこそ生まれた取り組みや工夫が多数あります。

今回は、そのような活動を応援するために初めて開催した子育て支援交流会と、コロナ禍だからこそ立ち上がったサロンの紹介をします。

子育て支援交流会を開催しました！

本会が把握している子育て支援団体に呼びかけたところ、交流会当日は7団体の参加がありました。各団体の活動紹介や意見交換を行い、今後の一宮の子育て支援について話し合うことができました。

「コロナ禍で他の団体がどのように活動しているのか知りたい」などの相談から企画した交流会でしたが、一宮での子育てがより安心安全にできたらという思いが各団体から伝わってきました。今後も子育て支援団体を応援していきたいと思います！

開催日：令和３年 10 月 28 日(木)
会　場：社協大和事務所

交流会が終わった後も皆さん熱心に情報交換されていました。

参加者の皆さんからは、「他団体のお話が聞けて活動の参考になった」や「定期的にこのような交流の機会を設けて情報交換がしたい」などの意見が聞かれました。

下出ふれあいサロンが新しく立ち上がりました！

北方女性の会代表の方から、新型コロナウイルスの影響で町内の方の外出の機会や集まる機会が減少しているとのお話があり、こういったご時世だからこそサロンを立ち上げて町内での交流の拠点を作りたいとの相談がありました。そして、協議・検討の末、新型コロナウイルスの感染対策を行い、令和３年６月１日(火)から新しく北方町連区の下出公民館で下出ふれあいサロンが開催されました。

DVD を使用した健康体操。「運動の機会が減っていたので久しぶりに身体を動かすわ」と皆さん楽しみながら体操されていました。

マジックブローチ作りが人気で皆さん熱心に取り組まれていました。

学校の福祉活動紹介

修文女子高等学校

修文女子高等学校にはボランティア活動と国際交流を行うことを主としたインターアクトクラブという部活動があります。他校、施設、地域の方との交流やボランティア活動を通して、様々な形で地域に貢献すると共に生徒自身も人々との交流を深めています。また、インターアクトクラブ以外の部活動でも地域に貢献する活動を積極的に行い、学校全体で募金活動などにも取り組まれています。そこで、今回は修文女子高等学校の福祉の取り組みの一部を紹介いたします。

インターアクトクラブの取り組み紹介

全国高校生手話パフォーマンス甲子園に出場されました。惜しくも本戦に進めなかったとのことでしたが、講師の方から手話を教わり、熱心に勉強され、「手話」「聴覚障害者」について考える貴重な機会となりました。

令和３年度は愛知県社会福祉協議会主催の介護理解促進研修を受講されています。この研修は介護就労への理解を促し、関心を高めるために、施設職員や外部講師が介護の仕事についての講義や介護職の魅力についての講話を行います。

生徒の皆さんは熱心に講師の方のお話を聞きながら、介護についての学びを深めていました。インターアクトクラブは、毎年、特別養護老人ホーム愛厚ホーム一宮苑にて、利用者さんと生徒の交流会(クリスマス会)を行っています。この交流会には他に４つの部活動が参加しています。残念ながら、新型コロナウイルス感染拡大の影響で直接の交流は２年程できていませんが、生徒達が動画を作成し、クリスマスの頃に届けているとのことです。愛厚ホームの利用者の皆さんにとても喜ばれており好評とのことです。

ソフトボール部の清掃活動

ソフトボール部では朝の登校の時間に自主的に道端のゴミを拾いながら登校しているそうです。地域の美化活動に貢献すると共に、他の生徒の皆さんの模範となる取り組みです。これからも是非、この素晴らしい活動を続けていってほしいと思います。

修文女子高等学校は令和4年4月から男女共学化により、校名が修文学院高等学校に変更となります。共学化に伴い、ますます福祉活動が活発に行われることを期待しています。

ワンポイント Q&A

認知症について

質問：一人暮らしの母親について、周りから「認知症が心配だね」と言われましたが、認知症とは何か教えてください。

答　：認知症とは、脳の病気や障害など様々な原因により認知機能が低下し、日常生活全般に支障が出てくる状態をいいます。

○ 認知症ってどんな病気

認知症とは、さまざまな原因で脳の細胞が死ぬ、または働きが悪くなることによって、記憶・判断力の障害などが起こり、意識障害はないものの社会生活や対人関係に支障が出ている状態（およそ６か月以上継続）をいいます。年をとれば誰でも、思い出したいことがすぐに思い出せなかったり、新しいことを覚えるのが困難になったりしますが、認知症は、このような「加齢によるもの忘れ」とは違います。例えば、体験したこと自体を忘れてしまったり、もの忘れの自覚がなかったりする場合は、認知症の可能性があります。

○ 認知症の症状

周囲の現実を正しく認識できなくなります。

記憶障害、見当識（けんとうしき）障害、理解・判断力の障害、実行機能障害、感情表現の変化

[症状例]

① 記憶力や判断力の低下を自覚して、**元気がなくなり引っ込み思案に**

② 今まで出来たことが上手く出来なくなって、**自信を失い、すべてが面倒に**

③ 自分のしまい忘れから、**他人へのもの盗られ妄想**

④ 「知り合いが家の財産を狙っている」といった**訴えや徘徊**

○ 認知症の予防方法等

認知症の大部分を占めるアルツハイマー型や脳血管性認知症は、生活習慣病（高血圧、糖尿病、高脂血症など）との関連があるとされています。例えば、野菜・果物・魚介類など、バランスのとれた食事を心掛けたり、定期的な運動習慣を身に付けたりと、普段からの生活管理が認知症の予防に繋がることが分かってきました。

症状が軽い段階のうちに認知症であることに気づき、適切な治療を受けることで、薬で認知症の進行を遅らせたり、場合によっては症状を改善したりすることもできます。

また、早目に対応することで、「介護サービス」や「福祉サービス」へ繋ぐこともできるようになります。

編集ボランティアのページ

●担当編集ボランティア / 日置雅夫・岩下茂子

スリランカで国際協力活動 タランガフレンドシップグループの事例-その1

NPO法人タランガフレンドシップグループ(以下TFG)は、2007年度から2年かけて、スリランカの北西州でJICA(ジャイカ/独立行政法人国際協力機構)の草の根技術協力事業のTFGプロジェクトを実施しました。

このプロジェクトでは、北西州の低開発村の若者などを対象に、農業研修事業と販売ネットワーク構築事業を行いました。参加した研修生の人数は191名です。

1993年以来、TFGは北西州政府と協力しながら職業訓練支援を行ってきました。資金と機材と技術を提供することで、低開発村の若者の経済的自立、社会的自立を促進してきました。すでに、約10年かけて約1,800名の研修生を地域社会に送り出しました。

現在のスリランカでは、内戦も終結し、平和を取り戻し、順調な経済活動が行われています。2007年当時は、政府高官が暗殺されるなど、町中でもテロが頻発し、スリランカ人は神経質になっていました。私がホームステイしていた家の近くでも、人が乗っているバスへの爆弾テロがありました。スリランカ人の7割はシンハラ人ですが、主に北部に住むタミール人が独立を望み、内戦となっていました。従って、タミール人が多く住む北部へは容易に行くことができませんでした。

JICAの草の根技術協力事業は、日本のNGOなどの団体が経験や技術を活かして企画し、途上国への協力活動をJICAが支援するものです。そして、共同で行い、途上国の地域住民に直接役立つ事業を行います。（日置）

JICAスリランカ事務所を訪問･打合せ
2007年9月14日撮影

「デフリンピック」をご存知ですか?

前回の記事でオリンピック・パラリンピック・スペシャルオリンピックを紹介させていただきましたが、実はもうひとつ○○リンピックがあるのをご存知でしたか？

それが「デフリンピック」です。

デフリンピックとは、ろう者自身が運営しており、４年に一度開催される、ろう者による、ろう者のための国際的な総合スポーツ大会です。1924年フランス(パリ)で第１回夏季大会が、1949年オーストリアで第１回冬季大会が開催されました。日本は1964年アメリカ(ワシントン)で開催された第10回夏季大会、1967年西ドイツの第６回冬季大会から参加しています。

しかし、オリンピック、パラリンピックと比べると認知度が低いため、大会遠征費等も自費で賄わなければならないなど、支援は十分ではありません。

選手達も練習時間を確保する為の負担も大きく厳しい状況の中ではありますが、みなさん頑張っています。オリンピック・パラリンピックと同じように指導者のいるスポーツセンター、スポーツ医学・科学、情報分野からの支援も受けられるようになるといいと思います。

今、全日本ろうあ連盟では、デフリンピック100周年の歴史的節目である2025年に日本(東京)開催を目指して、連盟、選手一丸となって頑張っているそうです。ぜひ開催誘致に成功し、それが、日本におけるデフスポーツ環境の発展につながり、きこえない子供たちの夢を育むことになればよいなと思います。（岩下）

デフリンピック公式ロゴマーク
（実際は赤、青、黄、緑のカラーです）

いちのみやの社会福祉
2022年 2月号 No.51

★車いすの貸し出し ご利用ください

対 象 者 ：身体に障害のある方、けがをされた方などで、
一時的に利用が必要な方にお貸しします。
利 用 料 ：無料
貸出場所：本部・尾西支部・木曽川支部・大和事務所

ボランティアセンターにご登録を!

登録すると、ボランティアに関する情報発信のほか以下の特典もあります

★会議室の利用

尾西支部・木曽川支部・大和事務所の会議室やボランティア室の貸し出しを行っています。

★用具の貸し出し

高齢者疑似体験セットなどの福祉用具や、レクリエーション用具、マイクセットなどの貸し出しを行っています。

貸出用具の一部

非接触型温度計

サーキュレーター

ボッチャ

ボランティアさん大募集

あなたの力を貸してください!!

● ちょこボラ協力会員

自分のできる範囲で、困っている高齢者に、“ちょこっと”したお手伝いをしてみませんか？
企業・法人会員も募集中

● 一芸ボランティア

施設やサロンなどで、歌や踊り、手品などの披露や、小物作りの指導などを行っていただける方を募集中

● おもちゃ図書館運営ボランティア

市内に２か所（浅井町、丹陽町）あるおもちゃ図書館で、受付やおもちゃの作成などをしていただける方を募集中

【問合せ】本部 TEL85-7024

?応募!クイズ

図書カード ¥1,000

いちのみや福祉ジョブフェスタのテーマは「～みらいに○を～」。この○に入る言葉は何でしょうか？ ヒント 7ページ

ご応募いただいた方の中から抽選で5名の方に図書カード(1,000円分)をプレゼントします！
①クイズの答え　②本紙に対するご意見・ご感想
③住所　④氏名　⑤年齢
を明記の上、ハガキにてご応募ください。
【令和4年2月28日(月)必着】
〒491-0858一宮市栄3丁目1番2号　尾張一宮駅前ビル4階(一宮市社会福祉協議会内)「いちのみやの社会福祉」編集係あて

10月号クイズ当選者発表(応募総数104通)　大岩様(丹陽町)　青山様(千秋町)　後藤様(千秋町)　左合様(葉栗)　馬場様(北方町)おめでとうございます。
クイズの答え：新しいボランティア

災害義援金へのご協力ありがとうございました。

お寄せいただきました義援金は、中央共同募金会や、被災都道府県共同募金会を通して、全額被災されたみなさまへ届けられます。現在、下記の義援金を受付していますのでご協力をお願いします。

※平成 30 年 7 月広島県豪雨災害による義援金
※平成 30 年 7 月岡山県災害義援金
※愛媛県豪雨災害による義援金
※令和３年７月豪雨災害義援金

市内の福祉・保健・
医療関係者の皆さまへ

広告募集中

【掲載枠】1枠　縦55㎜×横80㎜ 【掲載枠】1回1枠　20,000円	最大4枠 複数枠掲載可

※広告掲載に関するお問い合わせは、本部(TEL:85-7024)まで

本紙は目の不自由な方のために音声版・点字版広報も発行しております。ご希望の方は本部まで

ウェブサイト　http://www.138sk.org

編集・発行
社会福祉法人 一宮市社会福祉協議会
〒491-0858 一宮市栄3丁目1番2号（尾張一宮駅前ビル4階）
TEL（0586）85-7024